

国際協力

国際協力は、国が中心となって展開されてきたが、80年代頃から民間(NGO など)や地方自治体もそれに関わるようになってきた。本県では、平成6年度に、二本松市に独立行政法人国際協力機構の青年海外協力隊訓練所が設立されたこともあり、民間、市町村、県などが主体になった国際協力が盛んになっている。

県民の国際協力は、物資の援助、植林、学校の建設や運営、NGO への寄附等の支援、研修生の受入れという形をとることが多い。その内容は、福島県国際交流協会 HP で見ることができる。

(<http://www.worldvillage.org/kouryu/dantai.html>) 市町村や県レベルの国際協力は、以下に示すとおり、研修生の受入れや専門家の派遣という形が主である。

このほかに、途上国や地球的な問題への理解を深める教育(開発教育)を推進する中で、間接的に国際協力が行われている。

草の根技術協力事業(地域提案型・地域活性化特別枠・地域経済活性化特別枠)

県国際課では、平成14年度から17年度まで、海外技術研修員受入事業をより効果的に実施するため、独立行政法人国際協力機構(JICA)の事業採択を受け、草の根技術協力事業を実施した。

○平成22年度からは、福島県立医科大学医学部公衆衛生学講座が中心となり実施する事業が採択され、ベトナムにおける科学的根拠に基づく保健医療サービス向上のための研修等令和3年度まで実施された。

○令和3年度には会津大学が実施する「若者・女性等を対象としたICTスタートアップ人材育成の事業モデル構築」が採択された。令和4~7年度にチュニジアのカルタゴ大学と協働して、若者や女性等を対象にICTに関する先端技術や起業に関する研修・演習を行い、若者・女性の起業促進、雇用機会増大や女性活躍の場の拡大を図る。令和6年度は、カルタゴ大学高等情報通信技術学院の学生を対象に研修を実施した。

JICA 海外協力隊派遣

(1) 青年海外協力隊/海外協力隊/日系社会青年海外協力隊/日系社会海外協力隊

青年海外協力隊員として開発途上国に派遣中の本県出身者は24名。

昭和40年の制度発足当初からの累計では790人(うち女性366人)全国累計57,819名(以上、令和6年12月末日現在)。

(2) シニア海外協力隊/日系社会シニア海外協力隊(H2~H7はシニア海外専門家、H8~H30はシニア海外ボランティア)

シニア海外協力隊として開発途上国に派遣中の本県出身者は1名。

平成2年の制度発足当初からの累計では64人(うち女性17人)。全国累計7,765(以上、令和6年12月末日現在)。

なお、県では、独立行政法人国際協力機構(JICA)が行っているボランティア事業に対し、応募相談、啓発広報の面で協力している。

国別 JICA 海外協力隊派遣数(福島県出身者)

(単位：人)

	国名	派遣中	帰国	累計
アジア	マレーシア	0 (0)	33 (13)	33 (13)
	インドネシア	0 (0)	21 (13)	21 (13)
	フィリピン	0 (0)	28 (9)	28 (9)
	タイ	0 (0)	16 (10)	16 (10)
	ベトナム	1 (0)	7 (3)	8 (3)
	中華人民共和国	0 (0)	6 (5)	6 (5)
	インド	0 (0)	6 (2)	6 (2)
	スリランカ	0 (0)	15 (11)	15 (11)
	ミャンマー	0 (0)	1 (1)	1 (1)
	東ティモール	1 (0)	3 (2)	4 (2)
	カンボジア	1 (1)	15 (10)	16 (11)
	ラオス	1 (1)	14 (2)	15 (3)
	バングラデシュ	0 (0)	23 (7)	23 (7)
	モルディブ	0 (0)	8 (5)	8 (5)
	ブータン	1 (0)	6 (3)	7 (3)
	モンゴル	2 (2)	12 (3)	14 (5)
	ネパール	0 (0)	25 (13)	25 (13)
	大洋州	ナウル	0 (0)	1 (1)
パプアニューギニア		0 (0)	9 (1)	9 (1)
トンガ		0 (0)	9 (1)	9 (1)
ソロモン		0 (0)	10 (3)	10 (3)
バヌアツ		1 (1)	7 (5)	8 (6)
フィジー		1 (0)	10 (8)	11 (8)
パラオ		2 (2)	3 (3)	5 (5)
サモア		0 (0)	3 (1)	3 (1)
キリバス		0 (0)	1 (1)	1 (1)
ミクロネシア		0 (0)	11 (3)	11 (3)
マーシャル		1 (0)	6 (3)	7 (3)
中南米	ペルー	0 (0)	6 (2)	6 (2)
	メキシコ	0 (0)	8 (5)	8 (5)
	キューバ	1 (1)	0 (0)	1 (1)
	アルゼンチン	0 (0)	5 (1)	5 (1)
	ブラジル	0 (0)	6 (2)	6 (2)
	チリ	0 (0)	7 (2)	7 (2)
	コロンビア	0 (0)	7 (2)	7 (2)
	ベネズエラ	0 (0)	4 (0)	4 (0)
	ベリーズ	1 (1)	2 (2)	3 (3)
	グアテマラ	0 (0)	13 (7)	13 (7)
	エルサルバドル	1 (0)	12 (5)	13 (5)
	ホンジュラス	0 (0)	16 (8)	16 (8)
	ニカラグア	0 (0)	9 (8)	9 (8)
	コスタリカ	0 (0)	6 (4)	6 (4)
	パナマ	0 (0)	7 (2)	7 (2)
	ボリビア	0 (0)	19 (13)	19 (13)
	ガイアナ	0 (0)	3 (1)	3 (1)
	エクアドル	0 (0)	12 (7)	12 (7)
パラグアイ	1 (1)	18 (8)	19 (9)	

	ウルグアイ	0 (0)	1 (0)	1 (0)
	セントルシア	0 (0)	1 (0)	1 (0)
	セントビンセント	0 (0)	4 (2)	4 (2)
	ドミニカ共和国	0 (0)	16 (4)	16 (4)
	ジャマイカ	0 (0)	9 (6)	9 (6)
欧州	ハンガリー	0 (0)	2 (0)	2 (0)
	ポーランド	0 (0)	1 (0)	1 (0)
	ブルガリア	0 (0)	5 (3)	5 (3)
	キルギス	0 (0)	5 (2)	5 (2)
	ウズベキスタン	0 (0)	4 (2)	4 (2)
中東	シリア	0 (0)	9 (2)	9 (2)
	ヨルダン	1 (1)	13 (5)	14 (6)
アフリカ	エジプト	1 (1)	4 (2)	5 (3)
	モロッコ	0 (0)	25 (6)	25 (6)
	チュニジア	1 (1)	10 (4)	11 (5)
	セネガル	0 (0)	21 (10)	21 (10)
	ブルキナファソ	0 (0)	5 (4)	5 (4)
	ニジェール	0 (0)	6 (4)	6 (4)
	ベナン	0 (0)	10 (5)	10 (5)
	リベリア	0 (0)	2 (1)	2 (1)
	ガーナ	1 (1)	20 (7)	21 (8)
	カメルーン	0 (0)	1 (1)	1 (1)
	ルワンダ	0 (0)	5 (2)	5 (2)
	エチオピア	0 (0)	12 (3)	12 (3)
	ジブチ	0 (0)	5 (3)	5 (3)
	ケニア	1 (1)	27 (11)	28 (12)
	タンザニア	0 (0)	27 (9)	27 (9)
	ウガンダ	0 (0)	13 (6)	13 (6)
	モザンビーク	1 (1)	9 (6)	10 (7)
	ザンビア	0 (0)	29 (11)	29 (11)
	マダガスカル	1 (1)	2 (2)	3 (3)
	ジンバブエ	0 (0)	12 (3)	12 (3)
ナミビア	0 (0)	3 (0)	3 (0)	
マラウイ	1 (1)	34 (14)	35 (15)	
ボツワナ	0 (0)	6 (1)	6 (1)	
総計		24 (18)	827 (362)	851 (380)

※上記数字は、青年海外協力隊/海外協力隊・シニア海外協力隊・日系社会青年海外協力隊/日系社会海外協力隊・日系社会シニア海外協力隊・調整員（右側の数字は女性隊員内数）

※令和6年12月末日現在「JICA ボランティア実績資料」（JICA 二本松）

うつくしま国際協力大使

本県出身又は本県にゆかりがあつて本県の情報を発信する任を担える JICA 海外協力隊（青年海外協力隊員、シニア海外協力隊など）に、県民と世界の人々との友好の架け橋として、派遣国において本県情報の発信をしてもらうとともに、県民に対し現地の生活・文化等の情報を紹介してもらうもの。

派遣前に県より委嘱状を交付し、帰国後に県へ帰国報告をしてもらう。

(1) 事業概要

ア 福島県各種広報誌を送付し、派遣国での本県紹介の実施。

イ 現地の生活や活動状況などについて、国際課ホームページ「地球探険」での報告。

(2) 実績

平成7年度から令和6年12月末までで、計435名を委嘱。